**『春日権現験記絵』 （第1巻 第二段）**

貴族藤原光弘は、大和河の近くの竹の森で謎の貴婦人に出会う。彼女は、宮廷の高位の女性が着ているような、何層もの衣服を着ています。貴婦人は光弘に対して、彼女が座っている場所が藤原一族に幸運と繁栄をもたらすと告げる。そして、彼女は自身が春日大社の第四神で唯一の女性の神である比売神だと明らかにする。光弘は比売神の言葉を信じ、比売神が現れた場所に家族のための新しい家を建てる。